

# 筑紫野市議会 意見交換会 開催しました!

生涯学習センター「さんあいホール」にて、  
意見交換会を開催し、市民の皆さんと意見交換を行いました。

11月8日

筑紫野市議会

意見交換会

2025年11月8日(土)14時～2時間程度



## ～プログラム～

- ① 開会のことば
- ② 事前にいただいたご意見への回答時間
- ③ 意見交換の時間
- ④ 閉会

当日は、40名の皆さんに  
ご参加いただき、  
誠にありがとうございました。



多くの貴重なご意見をお寄せ  
いただき、活発な意見交換と  
なりました。

紹介できなかった意見や、  
質疑応答は、筑紫野市議会の  
ホームページに掲載しています。



### 建設環境(4)【ご意見 3-0】

筑紫野市は、歴史もあり古い民家も多くあると思います。しかし、道路整備が遅れてると感じます。例えば、二日市小学校前の車道は狭く、歩道が逆側は無い状況です。早急に対応すべきでは? 民家を買収しても広くするべきと考えます。また、右折レーンが無いため渋滞も酷いです。昨年引っ越ししてきましたが、とても住みづらく、自転車すら走る道がありません。間違いなく今後人口減少が進むと思います。議員の方たちや、職員はご理解されているのでしょうか? 何かしらのご対応をお願いいたします。



色々な問題があり、とても参考になりました。各関係機関が連携すればよい解決策が見つかるのではと期待しております。



とても貴重な機会をいただきありがとうございました。今後も筑紫野市をよろしくお願いします。

# 主な意見交換

## こども館

Q 放課後に子どもたちだけで自立して遊ばせれる居場所が欲しい。春日市の児童館のような機能をコミュニティセンター等に導入してほしい。

A 市は、こども計画において、「小学生が移動できる範囲ごとに子どもの居場所を確保することが課題」としており、コミュニティセンターなどを拠点とした子どもの居場所づくりや、地域交流の場の提供を進めることで、子ども・若者が安心して過ごせる場をつくっていくことを目標としています。  
また、議会としても子どもの居場所づくりに関しては重要な課題としてとらえており、『子ども館設置』について市に提言書を提出し、文教福祉委員会としても2年間のテーマとして『子ども館の設置』を掲げ、先進自治体の視察なども行っています。  
今後も議会としては、引き続き子どもの居場所について訴えてまいります。

## つくしちゃんペイ

Q つくしちゃんペイの申込可能額を増額してほしい。

A 令和7年度の地域活性化商品券事業は、3回に分けて実施いたしました。1人当たりの申込可能額は、第1弾（デジタル商品券：通称 つくしちゃんペイ）が3万円まで、第2弾（紙の商品券）が5万円まで、そして第3弾（デジタル商品券）が3万円まで（ただし第1弾と合わせて上限3万円）、総額4億8000万円の事業となりました。9月議会において、委員会としては「より多くの市民に効果が及ぶような方策を検討する必要がある」とことを担当課へ要望しております。申込可能額の増額につきましては、次回の事業総額やこれまでの当選者数を考慮しながら検討・働きかけを行ってまいります。



## 市民プール

Q 市民プールについて、太宰府市と協定を結んで、筑紫野市民も太宰府市民と同じ料金で利用させてほしい。温水プールもある総合運動施設を作ってほしい。

A スポーツ推進計画の策定時の市民アンケートでは、市民プールは第2位という結果でした。健康増進や子どもの水泳学習、世代を超えた交流の場としての意義を議会としても十分に認識しております。一方で、市からは、市民プール設置は「年間を通じたランニングコストに加え、維持管理費が高額などの様々な課題があることから、慎重に検討すべきと考える」との回答でした。次に、他市の市民プールを利用した場合の料金助成について、9月議会で複数の議員が質問しましたが、市の回答は「他自治体において整備された施設に対し、本市住民の利用を促進することは、当該自治体や住民の理解を得る必要があることなど課題も多く困難である」というものでした。今後は市民の皆様からのご意見も十分に踏まえ、筑紫野市にとって最適な方策を探していくと考えております。

## コミュニティと自治会

Q 各地区に設立されているコミュニティセンターについて、将来的に各地区自治会との関わりはどうなっていくのか。

A 令和7年3月に「第二次筑紫野市地域コミュニティ基本構想」を策定しています。その中で、地域コミュニティは、「自治会・町内会等をはじめとする地縁団体や、まちづくり・子育て・防犯を推進する目的を持つ機能団体が、それぞれの特性を生かしながら、様々な地域の課題に取り組み、より安全で安心なまちづくりを目指す地域社会」と定義しています。議会としても、コミュニティ運営協議会と自治会が相互に協力し、地域の実情に応じた柔軟な体制づくりを進めていくことが必要であり、その方向性を後押ししてまいりたいと考えております。今後も、地域の声を丁寧にお伺いし、コミュニティセンター、地域コミュニティと自治会の連携強化に向けた環境づくりが進むよう、引き続き議論と提案を行ってまいります。

### 参加者の声



一人一人の質問や意見に対してきちんと調査や問題点の共有ができるいると感じて、とても有意義な意見交換会でした。皆さんの日頃の姿勢がとても頼もしく思いました。ありがとうございます！！



意見も回答も言葉だけなので残らない。せめて意見だけでも文書にて配布してほしい。